

# 同志社大学

## 2011年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2012年 4月24日提出

所 属	職 名	氏 名
経済学部	教授	室田 武
研 究 題 目	日本、シベリアを含む東アジアの天然資源開発と環境問題	
研 究 成 果 の 概 要	<p>日本とロシア連邦シベリア地方の天然資源利用(及び開発)とそれに伴う環境問題について、前年度に引き続き、現地調査を重視する研究を行うとともに、研究成果の公表を図った。</p> <p>日本の資源利用については水産資源に注目するとともに、2011年3月に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原発事故のもたらしている環境問題(放射能汚染)についての考察も行った。さらに、事故を受けてのエネルギー政策のあり方も検討した。</p> <p>シベリアに関しては、ロシア人共同研究者のタマラ・リトヴィネンコとともに、2011年8月から9月にかけてロシア連邦トゥヴァ共和国を訪ね、タイガと山岳ツンドラの境界地帯で展開されているトナカイ放牧に関し、放牧民とその家族からの聞き取り調査を行ったほか、関連する統計類を収集した。その調査研究の成果の公表については、近く英文で公刊の予定である。</p> <p>また、東アジアとの比較の意味で、南アジアのインドについて、そこでのバイオ燃料の開発に関し、環境面からの考察を行った。</p> <p>以上の研究に関し、2011年度内に刊行した主な論文等は以下の通りである。</p> <p>単著 室田武(2011)「デカン高原のある農村から考えたバイオ燃料ブーム」(研究ノート)、『経済学論叢』(同志社大学)、第63巻、第2号、79-93頁。 同上(2011)「東電原発事故後の、日本のエネルギー政策のあり方」、『都市問題』(東京市政調査会)、第102巻、6月号、41-46頁。 同上(2011)「原発廃炉の経済学」、エントロピー学会編『原発廃炉に向けてー福島原発同時多発事故の原因と影響を総合的に考える』、日本評論社、157-171頁。 同上(2012)「原発廃炉時代の都市エネルギー政策」、『都市住宅学』(都市住宅学会)、第76号、冬季、23-29頁。</p> <p>共著 室田武・内藤登世一(2011)「京丹後市の地域共同管理漁業の歴史と現状」、『経済学論叢』(同志社大学)、第63巻、第1号、91-133頁。</p>	